



欄に数値またはコメントを記入

<b>1. 建物概要</b>						
建物名称	西中学校屋内運動場改築工事	BEE	1.3	BEEランク	B+	★★★

<b>2. 重点項目への取組み度</b>						
重点項目	得点*/満点	取組み度	評価			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.7 /5		ふつつ			
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.7 /5		ふつつ			
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.9 /5		がんばろう			
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.8 /5		がんばろう			
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上	がんばろう 3 点未満	

<b>3. 重点項目についての環境配慮概要</b>			内訳対応項目			
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。						
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b>			得点		3.7	
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ③庇とカーテンの2種類を組み合わせてグレアを制御。 ④主要内装仕上げ材の更新必要間隔は20年以上。 ④主要配管材は給水:VLP(B)、排水:VLP(B)、通気:SGP(B)、Eの使用なし。 ④主要設備機器の更新必要間隔は20年以上。	Q-1 2 2.1 2.12 ① Q-1 3 3.1 3.13 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔			
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上			
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑨BEEm=0.47	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制			
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水コマや省水型機器の採用。 ⑫躯体と仕上げ材の分別が容易な計画。 ⑬ODP=0.01未満、GWP値=50未満の断熱材を使用。	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 ⑪ 2 2.1 2.2 ⑫ 2.3 ⑫ 2.4 ⑫ 2.5 ⑫ 2.6 ⑫ 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒			
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭CO2排出率:79%	LR-3 1 2 2.2	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善			
<b>"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)</b>			得点		3.7	
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯建築基準法に定められた50%増の耐震性を有する。	Q-2 2 2.1 2.1.1 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備			
<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b>			得点		2.9	
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑲階高は3.9m以上 ⑲1Fの壁長さ比率:0.3未満 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ Q-3 3 3.1 ㉑	⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上			
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b>			得点		2.8	
	■室外環境(敷地内)対策 (⑵生物環境の保全と創出/⑶まちなみ・景観への配慮/④敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 2 3 3.2	⑵ 生物環境の保全と創出 ⑶ まちなみ景観への配慮 ④ 敷地内温熱環境の向上			
	■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善)	LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2	⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑮ 温熱環境悪化の改善			

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	西中学校屋内運動場改築工事	階数	地上2F、地下0F
建設地	静岡県御殿場市中畑字蕪木沢 519番	構造	RC造
用途地域	地域指定なし	平均居住人員	340 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,100 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年1月 予定	評価の実施日	2021年8月17日
敷地面積	30,445 m <sup>2</sup>	作成者	日吉桂太
建築面積	2,201 m <sup>2</sup>	確認日	2021年8月17日
延床面積	2,285 m <sup>2</sup>	確認者	日吉桂太



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

★★★★★ A★★★★ B★★★ B'★★ C★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 79%  
③上記+②以外のオンサイト手法 79%  
④上記+オフサイト手法 79%

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> ・これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。 ・静岡県御殿場市に計画された西中学校屋内運動場である。		<b>その他</b> 0
<b>Q1 室内環境</b> ・全面的にF☆☆☆☆及び規制対象外の建材を採用し、室内空気質の健全化に配慮する。	<b>Q2 サービス性能</b> ・耐用年数の長い配管材料を採用し、配管材の長寿命化に配慮する。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・既存校舎と建物軸を合わせ、勾配屋根とすることで周辺との調和に配慮する。
<b>LR1 エネルギー</b> ・LED照明を採用し、省エネルギーへ配慮する。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・節水効果のある水栓等を採用し、水資源保護に配慮する。 ・ノンフロン断熱材を採用し、ODP値及びGWP値低減へ配慮する。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・広告物照明の設置はせず、光害の抑制に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい